

「私たちの食品ロス削減アクション」  
郡山市における取組み紹介

食品ロス削減のための協奏

2020年11月27日（金）

 郡山市長 品川 萬里

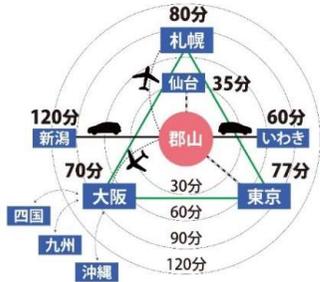
KORIYAMA CITY

PHOTO : photo\_booooy(郡山市観光協会公式SNSアンバサダー) @猪苗代湖

# 1 「郡山市」及び「こおりやま広域圏」の概要

## 郡山市

- 人口：330,586人(経済県都)  
(現住人口:2020年11月1日現在)
- 面積：757,20 k m<sup>2</sup>
- 商業 年間商品販売額 (2016年)  
1兆4,030億円 (県内1位、東北2位)



1. 首都圏の第四環状線  
(常磐道～磐越道～関越道)
2. 東京駅から77分  
(東京から3番目：大宮・宇都宮・郡山)
3. 大阪(伊丹空港)から70分



### ◆ 「知の結節点」こおりやま

高速交通網の拠点で、学術・研究機関など「知」が集結

### ◆ 郡山の強みを生かした連携推進(ステークホルダーとの連携)

オープンイノベーション、チャレンジ・スタートアップ、ICT・カゼン、セーフコミュニティ等



産総研福島再生可能エネルギー研究所 (郡山市)



ふくしま医療機器開発支援センター (郡山市)



福島県ハイテクプラザ (郡山市)



日本大学工学部 (郡山市)

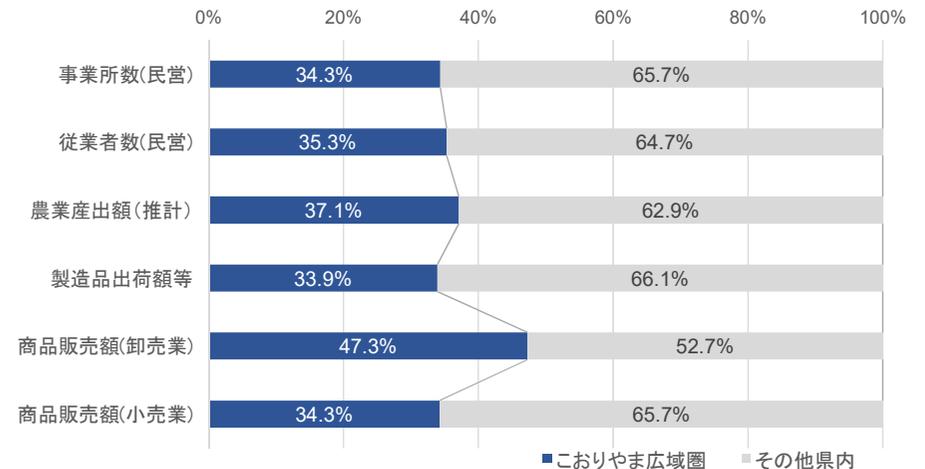
## こおりやま広域圏連携中枢都市圏(2019年3月)

- 構成：5市7町4村 (中心市：郡山市)
- 人口：約65万人 (福島県の約3分の1)
- 面積：約3,313 k m<sup>2</sup> (福島県の約4分の1)

二本松市加入  
(2019.10.18)



### (例示) 産業項目別県内シェア



■ こおりやま広域圏 ■ その他県内

## 2 郡山市が食品ロス削減に取り組む背景〔1〕令和元年東日本台風による被害

### 令和元年東日本台風による被害状況

- ◆ 死者6名、負傷者1名
- ◆ 避難者数 最大3,973名
- ◆ 消防組織の活動実績（10/12～10/15）
  - ・ 郡山消防本部 活動人員 延べ133隊572人  
救助者数 283人
  - ・ 郡山市消防団 活動人員 延べ2,456人  
救助者数 約150人
- ◆ 家屋被害（2020年10月30日現在）
  - 全壊 1,488件、大規模半壊 2,134件
  - 半壊 5,180件、一部損壊 2,440件

※ 罹災証明書出力ベース
- ◆ 企業被害（2020年10月23日現在）  
625億6,200万円
- ◆ 農業被害（2020年10月22日現在）  
24億5,759万8千円



▲令和元年東日本台風による浸水被害状況

## 2 郡山市が食品ロス削減に取り組む背景〔2〕SDGs未来都市の実現に向けて

### 郡山市のSDGsに関する取り組み

#### 持続可能な社会に向けた国際的な潮流

 2015年9月 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択  
※複数の課題の統合的解決を目指すSDGsを含む。

#### SDGs未来都市への選定（福島県内初）

 2019年7月1日 「自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取り組みを行う都市として、郡山市が県内で初めて「SDGs未来都市」に選ばれた。

#### 「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」へ賛同（福島県内初）

 2019年11月28日 令和元年東日本台風の被害を受け、地域における脱炭素化を目指すことを決意し、環境省が進める「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」へ賛同。

#### 「気候非常事態宣言」

 2020年1月16日 近年の異常気象が脅威であることを認識し、地球温暖化防止に資する行動変容の方針を定めた。

#### 「菅義偉内閣総理大臣所信表明演説」

 2020年10月26日 「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



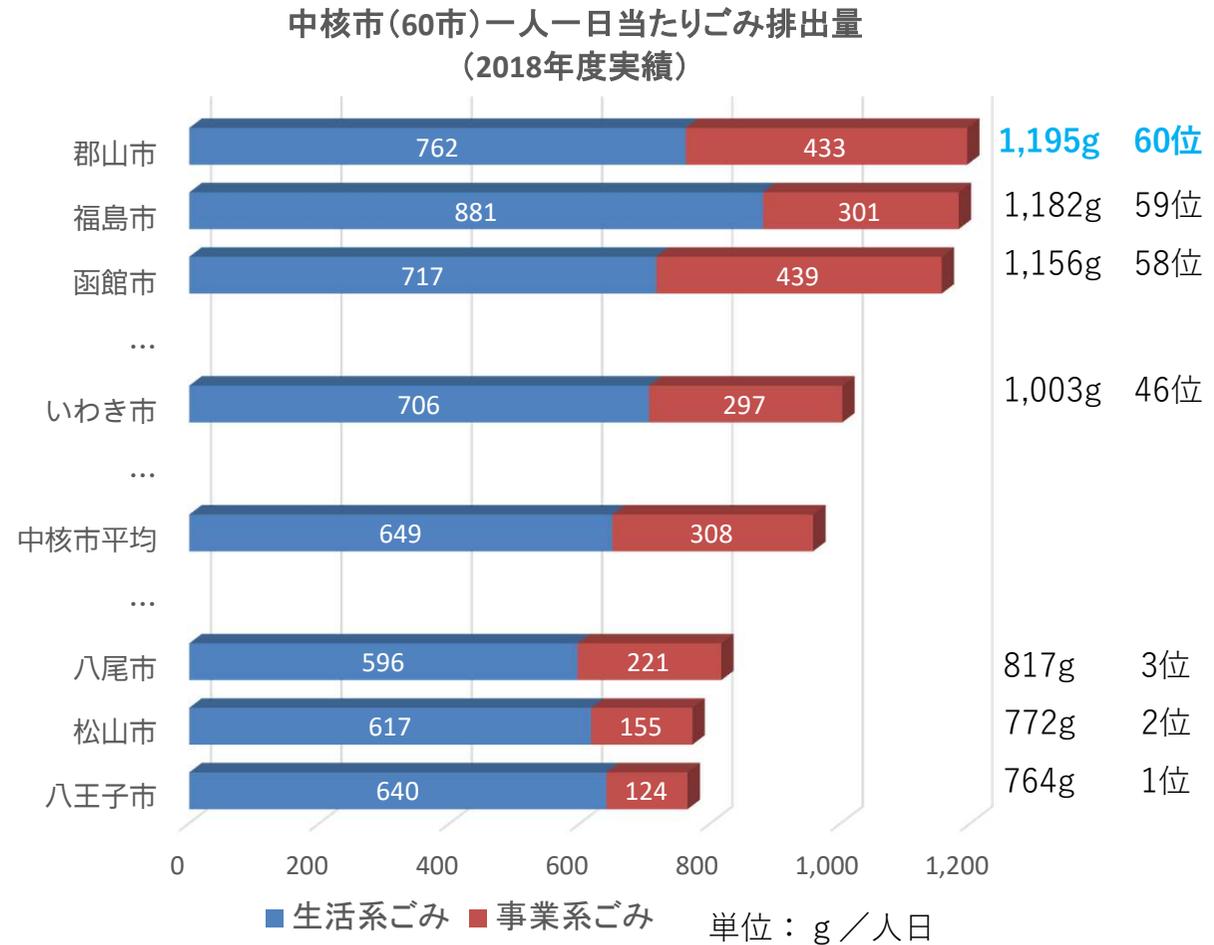
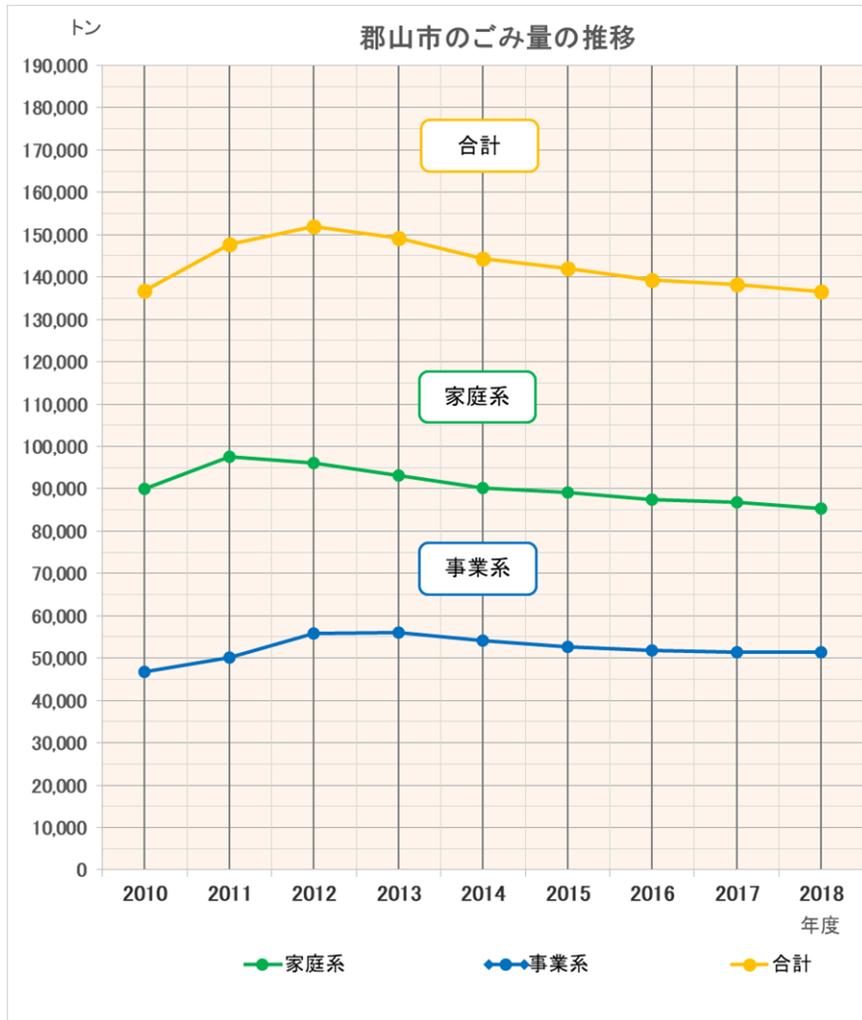
誰一人取り残さない

#### SDGs未来都市として

○ SDGsの目標達成のため、『誰一人取り残さない持続可能な地域社会』の形成を目指してまいります。

## 2 郡山市が食品ロス削減に取り組む背景〔3〕ごみの排出量

郡山市のごみ量は減少傾向にあるが、2018年度環境省調査では中核市（60市）一人一日当たりのごみ排出量は最下位に



出典：環境省「平成30年度一般廃棄物処理実態調査結果」より抜粋

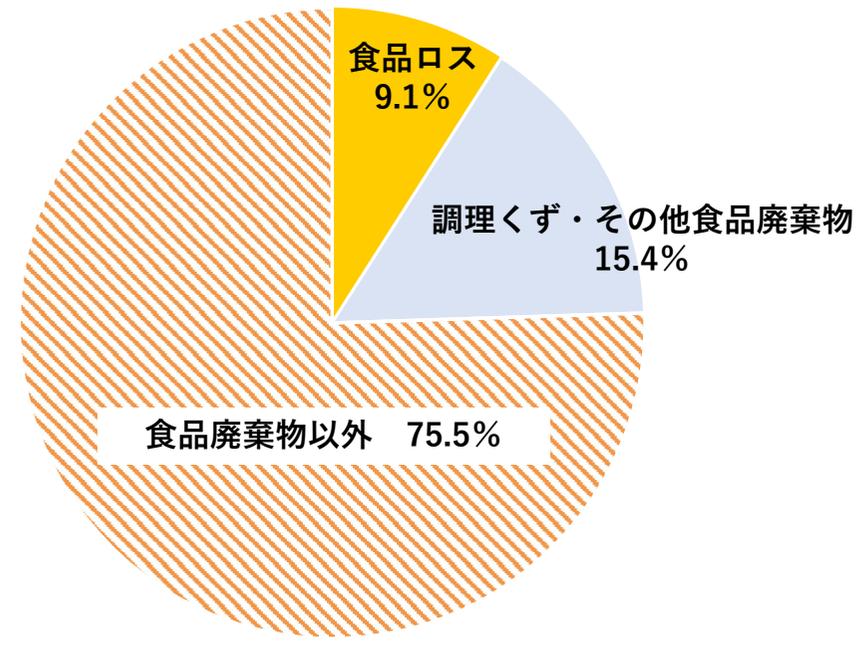
## 2 郡山市が食品ロス削減に取り組む背景〔4〕 食品ロス実態調査の結果

### 家庭系ごみ食品ロス実態調査結果について（調査日）

調査日 2020年2月27日

- 調査対象試料 325.96kg 試料中の食品廃棄物 79.83kg(24.5%)
- 食品廃棄物のうち、食品ロスの重量割合 37.0% 試料中の食品ロスの割合 9.1%

#### 調査試料のうち、食品ロスの割合



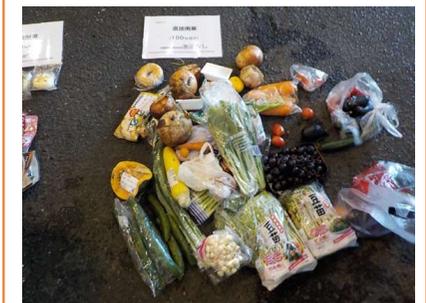
#### 郡山市の1人1日あたりの食品ロス発生量

- 調査結果を踏まえて、1人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると**54.1g/人・日**と推計された。  
（参考：**日本平均62.9g/人・日**  
※農林水産省及び環境省「2016年度推計」より算出）
- 郡山市で食品ロスの発生を抑えると年間で**6,570トン**の家庭ごみの削減が期待できる。

#### 分類作業



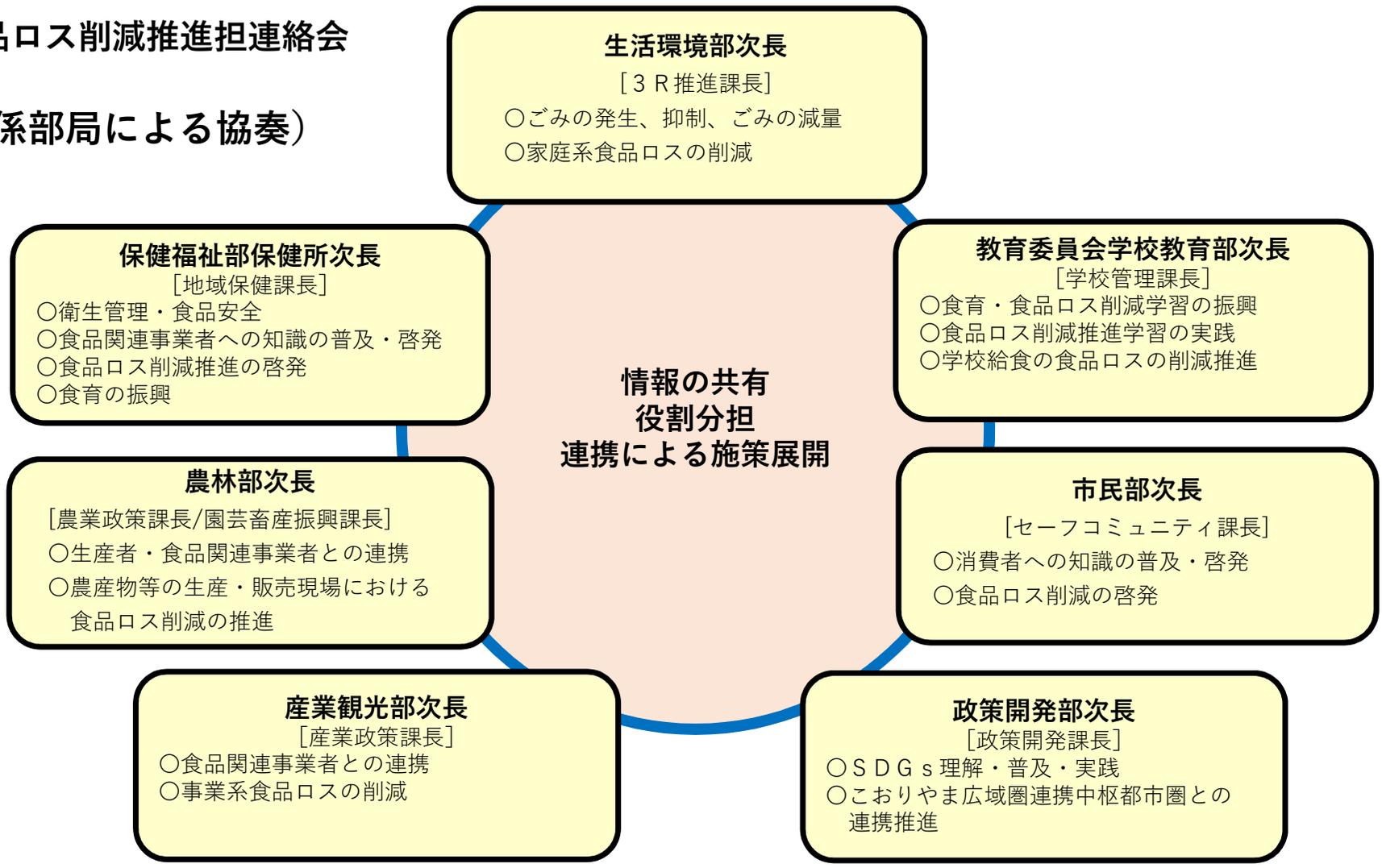
#### 直接廃棄された食品



### 3 郡山市食品ロス削減推進担

#### 郡山市食品ロス削減推進担連絡会

(庁内関係部局による協奏)



# 4 ①食品ロス削減への取り組み（啓発活動等）



出前講座の開催



イベント等での啓発



啓発用ポスターの掲示

## 福島県「食べ残しゼロ協力店」事業への協力



コンポスト及び段ボールコンポストのモニター募集



2020年2月22日開催 SDGsフォーラム



2020年11月1日開催 市民活動交流フェスタ



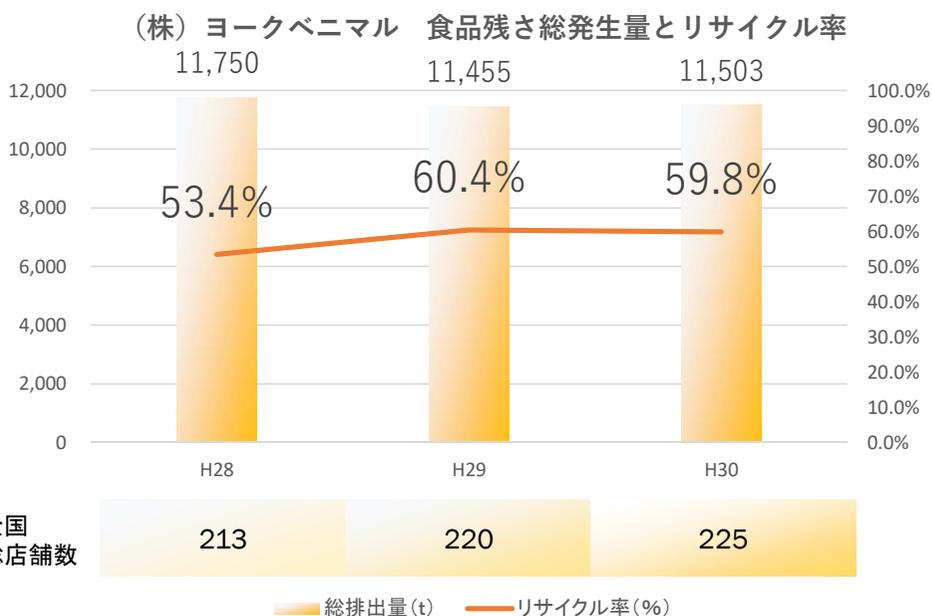
生ごみ減量 レシピ集の作成

## 4 ②食品ロス削減への取り組み（バイオマスの調査・研究）

食品ロスの発生量の約半分は飲食店、小売店、学校、病院等の事業所であることから、各現場における発生実態及び取り組み例の把握に努める。

富久山・河内クリーンセンターではバイオマス発電を行っております。

### スーパーにおける食品残さ総発生量とリサイクル率



※出典：株式会社ヨークベニマルCSRレポート2019

※ 郡山市内の18店舗で発生した食品残さも、近隣の登録再生事業者等で飼料化、たい肥化され、再生利用されている。

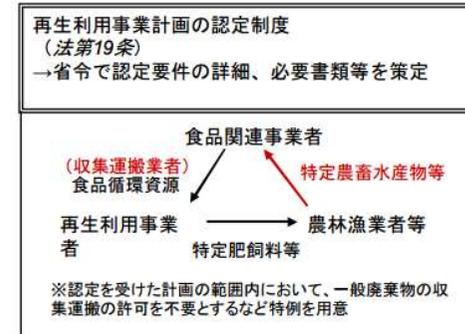
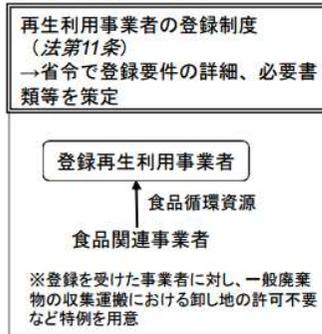
### 学校給食における残食発生量推計 ※3R推進課推計

	残食発生割合	一人一食当たり残食発生推計量	市内全校における一食当たり残食発生推計量	児童・生徒数 (5/1現在)
小学校	3.6%	23.2 g	365.3 k g	15,746名
中学校	13.0%	51.6 g	427.6 k g	8,288名
合計			792.9 k g	

### 食品リサイクル法の枠組み

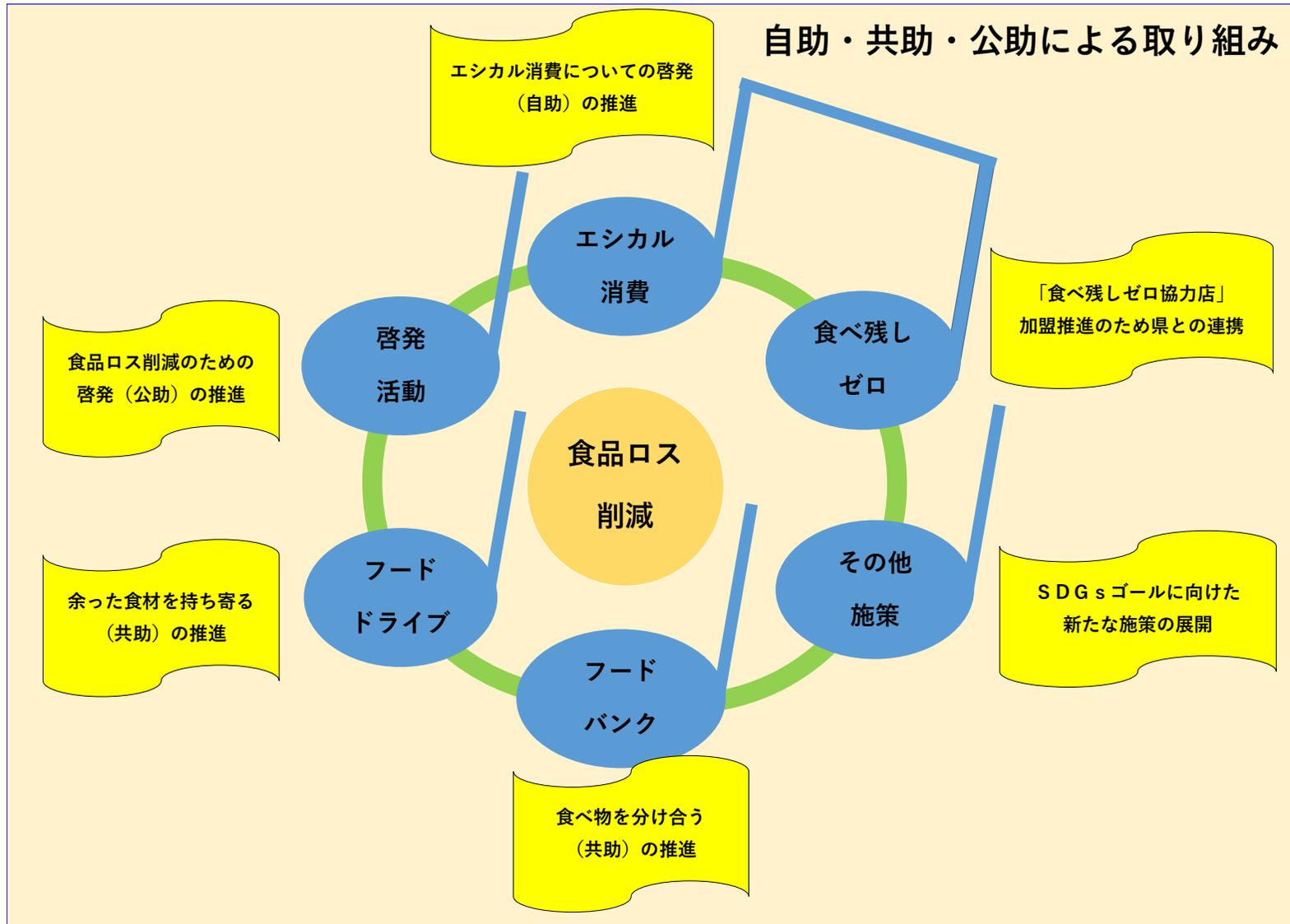
※出典：農林水産省HP

#### <取組円滑化措置>



※ 登録再生利用事業者は、食品残さを飼料化、たい肥化、燃料化するなどし、再生利用している。

# 5 今後に向けて（食品ロス削減のための協奏）



## 6 おわりに

先進事例等の研究「こおりやま広域圏」との情報共有



市民及び関係者等との連携（協奏）情報発信



ごみ減量・温室効果ガス排出削減・資源循環型社会の構築



「持続可能な目標（SDGs）」の達成

～誰一人取り残さない持続可能な地域社会を目指して～

冬



秋



春



夏



問合せ先：郡山市 生活環境部 3 R 推進課  
T E L 024-924-2181  
F A X 024-935-6790  
E-mail [3r\\_suisin@city.koriyama.lg.jp](mailto:3r_suisin@city.koriyama.lg.jp)